

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

第7回目 3月3日 9:00~10:45

康保会乳児保育所

1. 活動のテーマ

テーマ

・ひな祭りを通して日本の古来の楽器や弦楽器の音楽に触れ、影絵遊びを楽しむ。

テーマの設定理由

・日本古来の楽器と西洋の楽器の融合を楽しみながら、全身・五感を使い音楽を体で表現することを楽しむ。光を通して影絵をを楽しむ。

2. 活動スケジュール

・全園児に体験してもらうように縦割りで二部制にして行う。(1部:9:00~9:45、2部:10:00~10:45)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

きりん組ホールを使用

・ヴァイオリン・琵琶・ブラックシアター「ひなまつり」・木のモニュメント・造花・打楽器・懐中電灯・カラーマット

<環境構成>

0・1歳児はマットの上にクラスごとに座り、2歳児は椅子に座って参加する。

4. 探求活動の実践

活動の内容

聞いてみよう(ヴァイオリン:愛のあいさつ、琵琶:祇園精舎) 楽器のことを知ろう
音に合わせて体を動かそう 見てみよう、歌ってみよう(ブラックシアター『ひなまつり』)
お花を飾ろう(いけばなをしよう) 歌ってみよう(「さくらさくら」「ぽんぽんぽんと春が来た」)
・打楽器で演奏しよう(「おもちゃのチャチャチャ」「トルコ行進曲」)

活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり

・0歳児は普段とは違う環境に戸惑う様子が見られたが、ヴァイオリンの音色が聞こえてくると顔を向けて聴き入る姿が見られた。
・琵琶の音色の迫力に驚いて泣いてしまう児もいたが、様々な音色を出す琵琶に夢中になって見つめる姿が見られた。
・お花を飾ろうでは木に花が咲いていくのが楽しい様子で繰り返しやろうとする様子が見られた。また、「綺麗だね」という保育士の問いかけに「うん!」と嬉しそうに答える姿も見られた。
・打楽器を演奏しようでは自分で好きな楽器や気になる楽器を手に取り、音を出して楽しむ姿が見られた。壁や天井に桜やちょうちょなどの影絵が映ると「あ!」と指を指し、「ちょうちょが飛んでるよ」と保育士が声を掛けると手を伸ばして触ってみようとする姿が見られた。
・高月齢児は琵琶の音を声に出して真似して「ベンベン」と言ったり、馬を表現した音を弾くと、「パカパカ」と言いながら、馬が駆けるポーズをして楽しんでた。

活動中の様子



5. 振り返り

振り返りによって得た保育士の気づき

- ・琵琶の音色を奏でた時に、子ども達が一斉に注目し静かに聞いていた。(1~2名驚いて泣いてしまう子もいたが)和楽器の音色は耳馴染みが無かったが、耳心地は良いのか始めてでも受け入れていた。他の和楽器も機会があれば、子ども達に聞いたり見てもらいたい。
- ・1部では木のモニュメントに花を貼る際に、少し混雑してしまったのでモニュメントの配置を変えると混雑も緩和され、スムーズに貼ることができた。
- ・行進時にペープサートの影絵を懐中電灯で映しながら行進したが、クリスマス会でも行ったので、興味をもってくれる子が多く、影を触ろうとしたりペープサートを持ちたいという子が多かった。もう少し影絵の要素をプログラムに取り入れ、子どもたちも影絵で遊べるようにすると良かった。